

曙 光

第82号

令和5年10月1日発行

発行

広島県立障害者
リハビリテーションセンター
あけぼの〒739-0036
東広島市西条町田口295-3

TEL (082) 425-1455

あけぼのに来てから機関誌の

巻頭言を書くようになった。こ
こは年中無休であり、職員全員
が揃う機会を持つことはできな
いので、自分なりの考え方や方
向性を職員や家族の方に表す方
法として書いてきたが、自分の
ためでもあった。文章に記すこ
とは、口頭で話すことの何倍も
の知的エネルギーを要する。自
分を書くのは、自分の頭を整理
する為、頭の体操の為と言え
ば聞こえはよいが、実際は期限切
れ近くなるまで優柔不断、狐疑
逡巡を繰り返している。以前の
業務内容は事務として問題提起
や物事の方向性を定めるための
検討資料などの文章を作成して
きた。法人事務局に異動してか
ら県とのやり取りは全てペーパ

ーの提出が必須であつたので文

章を作成しなければならなかつ
た。簡潔に書けず、県から出向さ
れていた上司に何度も赤ペンで
文章を添削してもらつたことは、
本当にありがたいことだったと
思う。話すことは、スピード、抑
揚、雰囲気や他者の話に乗じて
意見を展開する等で、それらし
く聞かせることはできるかもしれ
ないが、文章にすることは、誤
字脱字はもちろん、簡潔で内容
が伴っていないと伝わらない。
故に、文章にする際には、推敲し
深く考えるようになる。そうし
た知的トレーニングの継続によ
り、少しずつだが精度が高まっ
ていく。稚拙な文章しか書けな
いが、素人なのだから良いもの
は書けないと開き直って書いて

きた。書く機会がある
限りは読書による勉
強や情報収集を続け
るしかないと思う次
第である。

あけぼのに来て驚
いたのは、書くことが
巧みとされる事務員

と比して支援員や医療職に文章
力が高い人が多いことである。

日誌やケース記録など書く機会
が多いのもあると思うが、何人
かに聞いてみると本を読んでいる
人が多い。読書については別
の機会があればお伝えしたい。

あけぼのでは、毎日の支援日誌
の作成は一人あたりの文字数の
上限を定め、規定を超える文字
数を入力できないようにしてい
る。あえて字数を制限すること
で、真の要点を洗い出し、それだ
けを切り詰めた表現で書くこと
で一語一語が欠くべからざる役
割を持つこととなる。日々、簡に
して要を得た内容となっていく
日誌を読むことは楽しみでもあ
る。トラブルやインシデント等
の重要事項については、必ず文

章での提出を求めている。口頭
での報告では、実際に報告者の
感情が加わるだけでなく、本来
のあるべき論等も入り混じり、
事実の認識が難しくなることが
ある。文章にすることは時間が
かかるという弱点もあるが、時
系列で事実を積み上げて書く行
為そのものが書き手を冷静にさ
せる効果もある。報告書全部を
読み終わってはじめて理解でき
る逆茂木型の文章もあつたりす
るが、文章を一読しただけで、誤
認や事の本質を理解しているか
どうかを知ることができる。そ
して何より、日々の日誌を作成
することにより、上手いかな
かった支援について、利用者及
び支援者の行動原理まで遡って
考えることができる。体験を言
語化することで失敗や成功の体
験を経験に変え、今後の支援の
教訓とすることができるのであ
る。文は人なりともいうことか
ら、今後も書くというにつ
いてこだわっていききたい。



あけぼの事業活動紹介

一般就労について

通所グループでは、新規就職や復職を目指した訓練を行っています。訓練を通して、自分に出来ることを探していき、力を伸ばしていくとともに、本人の希望とできる仕事とのマッチングを図ります。また、スーツを着用した訓練や面接の練習などにも取り組んでいます。企業見学の際には、職員が同行し、サポートを行っています。また、就職や復職の後は、職場訪問を定期的に行って、定着をサポートしています。

今年、6月に一般就労したAさんは、小売店で接客業で活躍しています。

あけぼので訓練してきたので、お客様から物の場所を聞かれた時に、しっかりと対応が出来て、うれしかった！



利用者Aさんより

日曜参観

7月23日(日)、家族参観を実施しました。利用者の家族に各事業の日中活動を見学していただきました。日々どんな様子で活動をしているのか見てもらい、どのように過ごしているのか知ってもらう機会となりました。



＜生活介護＞
テーブルテニスの様子

＜通所グループ＞
就労訓練の様子



＜生活訓練＞
軽作業の様子



自治会活動

月に一度、利用者自治会の定例会議を行っています。執行役員を中心とした利用者が主体となって、施設生活全般のことや行事への関わりなどについて、施設側との意見交換等を行っています。会議の進行や議事録作成も利用者が行っています。

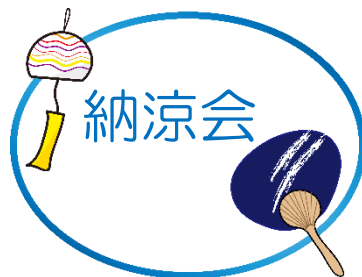
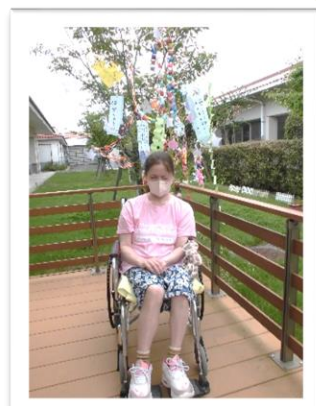


行事紹介

七夕飾り

生活介護のメンバーで
七夕の飾りつけをしました！
一人ひとり短冊にお願い事を書きました！

願いが叶うといいな～



暑い夏を元気にのりきろうと、納涼会を実施しました！
みんなでオリジナル風鈴を作りました！
作り終えた後は、花火の映像や音楽を聴きながら、
かき氷を食べました！





プチ外出

今回のプチ外出は、「女子会です」！
リフレッシュを兼ねて、ドライブをした後、
アイスクリームを外の景色を見ながら、食べました！



利用者の動き

令和5年6月1日～令和5年9月31日

《新規利用者》4名（入所1名，通所3名）

【内訳】利用経路：あけぼの生活訓練からの事業変更1，高次脳外来3

利用事業：生活訓練3 生活介護1

《利用終了者》6名（入所6名）

【内訳】生活の場：自宅2，グループホーム(障害)2，有料老人ホーム1，障害者施設1

活動の場：新規就労1，就労継続支援B型2，生活介護1，その他2



早いもので今年もあと3カ月となりました。最近、朝方が冷え込んできていることを感じ、夏が終わったんだなと実感してきました。皆様は、この夏、夏らしいことをされましたか？ 私は屋内で過ごすタイプなので、涼しい部屋でのんびりと夏を満喫しました。来年は何か夏らしいことができたらいいなと思っています。季節の変わり目でもありますので、体調管理に気をつけてお過ごしください。

編集後記



今回の題字は、通所利用者の益吉秀明さんに「曙」、樽本貴史さんに「光」を書いていただきました。どちらの字も丁寧かつ力強く書いていただきました。

題字紹介